

資料1 諸室構成表

機能	諸室		計画面積 (㎡)	必要機能・仕様	OAフロア	防音・遮音	吸音仕様	LAN	電話	テレビ	放送設備	冷暖房	給水設備	給湯設備	洗面台	備考				
学校施設機能	体育館	大アリーナ	1,600	<ul style="list-style-type: none"> 天井高は、自由競技空間（障害物のない空間）として、床面から概ね12.5m以上を確保する。 天井パネルは不要とする。ただし、屋根部分は、断熱、防音に優れたものを使用する。 内壁は、ボールの衝突を考慮した強度の材質を採用し、耐久性のある構造とする。 音響に関し、講演会等で支障がないように計画する。 必要箇所に防球ネット、防球フェンス、暗幕を設置する。 下地、骨組み等は運動等に支障とならないものを採用する。 防音、遮音、振動に関し支障がないように計画する。 ライン引きは①バスケットコート（2面）②バレーコート（2面）③バトミントンコート（4面）とする。 バレー、バトミントンの支柱受金具を設ける。 バスケットゴールは電動折畳式（2対）とする。 ネット等によって、分割できるようにすること。 生徒等が直接衝突する恐れのある部分は衝撃を吸収する仕上が望ましい。 その他、学校教育活動に必要な機能・仕様を有すること。 		○	○				○									
		ステージ		<ul style="list-style-type: none"> ステージが可動式のものも可とする。 ステージは各式典の実施可能な広さ・高さのものとする。 ステージ上部の照明器具等は、キャットウォークを設置するなど取り換えが容易にできるように工夫する。 看板等を掲示するバトンを設置する。 		○	○													
		放送室		<ul style="list-style-type: none"> 放送設備の設置スペースを確保する。 	○	○	○	○	○	○										
		倉庫		<ul style="list-style-type: none"> 収納されるものを考慮して必要な面積を確保する。 																
		更衣室・シャワー室		<ul style="list-style-type: none"> 男女別に設け、衣類等を保管できるロッカー（男女各30人以上）及びシャワー室を利用者の同時使用率等を勘案して本市と協議の上、設置する。 									○		○	○	○			

機能	諸室	計画面積 (m ²)	必要機能・仕様	OAフロア	防音・遮音	吸音仕様	LAN	電話	テレビ	放送設備	冷暖房	給水設備	給湯設備	洗面台	備考	
学校施設機能	屋内プール	1,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水面積350m²、25m×14m、6コースとする。 ・ 天井高は、プールサイドから4m以上とする。 ・ (財)日本水泳連盟プール公認規則に定める標準競泳プールに準ずるプールとする。 ・ プールの水深は学校利用時と一般利用時でプール面を分割して調整できるようにする。また、この場合柵を設けるなどの安全対策を施す。 ・ プール本体の規模に応じて、適当数の水深表示を行う。 ・ プールは通常時は30℃以上に保つことが可能な水温調節機能を有すること。 ・ プール部に対応する各機器は耐塩素仕様とし、機器の長寿命化を図ること。 ・ 厚生労働省健康局長通知「遊泳用プールの衛生基準について」及び「プールの安全標準指針」を満たすこと。 [通過式洗浄設備等] ・ 更衣室及びプール付属便所からプールサイドに出る動線上に、シャワーを適切数設置することとし、十分に身体洗浄ができるようにする。 [うがい設備、洗眼設備] ・ 更衣室とプールサイド間の動線上又はプールサイド等、遊泳者及び遊泳修了者の利用に便利な位置に、うがい設備と洗眼設備を設置する。 ・ 子供から大人まで利用できるよう、水栓の奥行や高さに配慮すること。 ・ 設置数については、事業者の集客予想を基本とし、利用者の同時使用率等を勘案して本市と協議の上、設定する。 		○					○	○					
	採暖室またはジャグジー		<ul style="list-style-type: none"> ・ プール室に面した位置に配置する。 								○					
	更衣室・シャワー		<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女別に設け、衣類等を保管できるロッカー（男女各80人分以上）及びシャワー室を利用者の同時使用率等を勘案して本市と協議の上、設置する。 ・ 独立した更衣ブース、シャワー、トイレ、洗面カウンターを適宜設置する。 	○						○	○	○	○	○		
	監視室		<ul style="list-style-type: none"> ・ プール室に面した位置に配置する。 				○	○	○	○	○				○	

機能	諸室	計画面積 (m ²)	必要機能・仕様	OAフロア	防音・遮音	吸音仕様	LAN	電話	テレビ	放送設備	冷暖房	給水設備	給湯設備	洗面台	備考	
学校施設機能	特別教室	多目的室	210	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道等の武道での利用を可能とする。 ・内壁は、衝突を考慮した強度の材質を採用し、耐久性のある構造とする。 ・防音、遮音、振動に関し支障がないように計画する。 ・下地、骨組み等は運動等に支障とならないものを採用する。 		○	○		○		○					
		倉庫		<ul style="list-style-type: none"> ・収納されるものを考慮して必要な面積を確保する。 												
		調理室	130	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用調理台（1台・W2400*D900*H85程度・蛇口2口・ガスオープンレンジ）、生徒用調理台（8台・W2100*D900*H800程度）を設置する。 ・コンセント（冷蔵庫・電子レンジ等用）を必要数設置する。 ・前面にホワイトボードを設置する。 ・床材は、水に濡れても使用上、機能上支障のないものを採用する。 ・うち準備室を設置する。 				○	○		○	○	○	○		
		音楽室	130	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な音響的環境となるよう空間の形に配慮するとともに防音に考慮した施設とする。 ・歌唱、演奏等の発表の場となる小ステージを設置する。 ・黒板は五線付スライド式を設置する。 ・楽器用棚を設置する。 ・うち準備室を設置する。 		○	○	○	○		○	○				
		美術室	130	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の準備、後始末のため、水栓・流し・水切り等を利用しやすいよう設置する。 ・工作用の機械等を安全に利用できる動作スペースを設置する。 ・黒板を設置する。 ・うち準備室を設置する。 				○	○		○	○	○		○	
	計	3,200														

機能	諸室		計画面積 (m ²)	必要機能・仕様	OAフロア	防音・遮音	吸音仕様	LAN	電話	テレビ	放送設備	冷暖房	給水設備	給湯設備	洗面台	備考		
生涯学習機能	大会議室	小アリーナ	250	<ul style="list-style-type: none"> ・内壁は、ボールの衝突を考慮した強度の材質を採用し、耐久性のある構造とする。 ・天井高は、4m以上とする。 ・音響に関し、講演会等で支障がないように計画する。 ・下地、骨組み等は運動等に支障とならないものを採用する。 ・可動式ステージを設置する。 ・看板等を掲示するバトンを設置する。 		○	○	○	○	○	○	○						
		倉庫		<ul style="list-style-type: none"> ・収納されるものを考慮して必要な面積を確保する。 														
	会議室		170	<ul style="list-style-type: none"> ・遮音に配慮した移動間仕切り等により3分割程度にしてそれぞれの部屋を独立して利用できるようにする。 ・防音、遮音に配慮した施設とする。 ・ひと部屋は、映像、音響設備を利用できるようにする。 ・ひと部屋は、茶道・華道など畳敷きでも利用できるようにする。 ・必要な個所に倉庫を併設する。 	○	○	○	○	○	○	○	○						
	情報提供コーナー		100	<ul style="list-style-type: none"> ・談話、飲食利用を可能とし閉鎖した空間を求めない。 ・図書等の開架閲覧スペースと貸出・返却、相談カウンターを設置する。(管理室との共用も可) ・新聞、雑誌等の閲覧、パソコンによる検索のブラウジングコーナーを設置する。 	○	○		○	○		○	○						
	計		520															

機能	諸室	計画面積 (m ²)	必要機能・仕様	○ A フ ロ ア	防 音 ・ 遮 音	吸 音 仕 様	L A N	電 話	テ レ ビ	放 送 設 備	冷 暖 房	給 水 設 備	給 湯 設 備	洗 面 台	備 考	
その他 諸室	管理室	1,440	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設の受付・案内の拠点となる位置に配置する。 ・市職員（2名分）の執務スペースを確保する。 	○			○	○	○	○	○					
	倉庫															
	備蓄倉庫		<ul style="list-style-type: none"> ・60m²以上のスペースを確保する。 ・必要な棚を設ける。 													
	機械室															
便所	<ul style="list-style-type: none"> ・各階及びプールに男女それぞれ設置する。 ・オストメイト対応のみんなのトイレを各階に1か所設置する。 ・学校専用（男女）を1ヶ所設置する。 ・便器の設置数は利用者の同時使用率等を勘案して本市と協議の上、設定する。 ・断水時に利用可能なトイレを設けるなど、災害時の拠点施設として必要な機能を整備する。 											○	○	○		
一般 共用部	廊下									○						
	階段															
	エントランスホール	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用電話の配線を設置する。 							○	○						
学校・公民館複合化施設 計		5,160														

機能	諸室	計画面積 (m ²)	必要機能・仕様	OAフロア	防音・遮音	吸音仕様	LAN	電話	テレビ	放送設備	冷暖房	給水設備	給湯設備	洗面台	備考	
消防署 西分署	1階	車庫	238	<ul style="list-style-type: none"> 天井高は、5,000以上とする。 消防車両5台駐車する。 車両の大きさ <ul style="list-style-type: none"> ①化学車 W2600×L8000 ②消防ポンプ車 W2400×L8000 ③救急2号車 W2000×L5000 ④救急7号車 W2000×L5000 ⑤資機材搬送車 W1600×L5000 [車庫内に設置] 薬剤庫 (棚 L3600) ホース棚 (L3600) 							○		○			
		少量危険物倉庫	5	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に面して設置する。 少量危険物の保管に対応する仕様とする。(有効幅2200×1800) 												
		消毒庫	9	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に面して設置する。(有効幅 2600×3000) 												
		救急資機材庫	6	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に面して設置する。(有効幅2600×2000) 												
		資機材庫	14	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に面して設置する。(有効幅 2600×4800) 												
		着装室	23	<ul style="list-style-type: none"> 車庫に面して設置する。(防火衣着装棚17台・着服用ネットの設置) 												
		消耗品庫	-	(棚 L4200)												
	事務室	68	<ul style="list-style-type: none"> 消防隊 14人 (7人×2課制) 救急隊 16人 (4人×2課制×1隊) 合計 30人 有効幅 10600×6200 	○	○	○	○	○	○	○	○					
書庫	11	<ul style="list-style-type: none"> 事務室から入庫 有効幅 3200×3200 														

機能	諸室	計画面積 (m ²)	必要機能・仕様	OAフロア	防音・遮音	吸音仕様	LAN	電話	テレビ	放送設備	冷暖房	給水設備	給湯設備	洗面台	備考	
消防署 西分署	湯沸し室	3	・事務室の近辺に設置する。 ・有効幅 1400×2000 ・流し台(L=1200)、食器棚を設置する。									○	○			
	計	377														
	中2階	天井裏倉庫	-	・消防車両車庫の天井高がH=5,000のため、中2階を有効に活用する。												
	計	-														
	2階	仮眠室	135	・男性14室 (有効幅 3600×2200) ・女性1室 (有効幅 3600×2200) ・各室の睡眠環境、プライバシー、防音・遮音性を確保する。		○		○	○	○	○	○				
		食堂・厨房	68	・厨房・器具、カウンターテーブル、畳8帖間を設置する。 (有効幅 9400×7000、)				○	○	○	○	○	○	○		
		男性浴室	21	・浴室 (浴槽のある部屋) と分けて、脱衣室にシャワーブース1と脱衣棚を設置する。 ・隣接して、洗面室を設置。 (洗面台、ラック-洗面用15人用×2台) (有効幅員 3400×6000)									○	○	○	○
		女性浴室	8	・隣接して洗面・脱衣室を設置する。 (洗面台、脱衣棚、洗濯機パン) (有効幅員 3400×2100)									○	○	○	○
		洗濯室	7	・洗濯パンを設置する。 (有効幅員 3400×1800)										○	○	
		乾燥室	7	・洗濯室から出入する。 (有効幅員 3200×2000)												
	計	246														

機能	諸室	計画面積 (m ²)	必要機能・仕様	OAフロア	防音・遮音	吸音仕様	LAN	電話	テレビ	放送設備	冷暖房	給水設備	給湯設備	洗面台	備考	
消防署 西分署	一般共用部	男性トイレ	48	・各階に設置する。(面積は2カ所分) (小2、大ブース2、洗面台、清掃庫) (有効幅員 3400×3200)							○	○	○	○		
		女性トイレ	24	・各階に設置する。(面積は2カ所分) (大ブース1、洗面台、清掃庫) (有効幅員 3000×1600)							○	○	○	○		
		みんなのトイレ	7	(有効幅員 1800×3400)							○	○	○			
		廊下・階段	238	・階段は屋上への連絡にも使用できるようにする。												
	計	317														
	屋上	—	・防災用自家発電装置、受変電設備、訓練用資機材庫を設置する。										○			
	車庫前等	—	・消防車両車庫前に訓練施設として、防火水槽(4.0t)、消火栓、ほふく救出が実施できるスペースを確保する。										○			
	附帯設備	—	・ホースタワー、放水壁、駐輪場を設置する。													
	指令系設備	—	・次の設備等に必要な配線工事 ・新規指令専用回線、指令情報出力装置一式、庁舎放送設備、救急隊2隊運用に伴う放送指令制御装置、本部側の指令システム変更・監視Webカメラ、無線受令機及びアンテナ設備、内線電話。													
	消防署複合化施設 計		940													
複合化施設 合計		6,100														